

2023 クラブマンモトクロス第8戦

順位 (ヒート) 車番 名前 クラブ名 車名 POINT

<2ヒート制>

■GPクラス総合(入賞〜総合2位 / フルポイント)

1	1/1	4	大内 健八	城北ライダース	K-KX450	25/25
2	2/2	7	田淵 武	C for Racing	Y-YZ450F	22/22

■SEクラス総合(入賞〜総合6位 / フルポイント)

1	1/2	10	長谷川 祥	MHP RACE TEAM	Y-YZ450F	25/25
2	2/3	98	米山 駆	隼 ROOST	Y-YZ250	22/20
3	5/2	213	加藤 泰介	加藤泰介・BRC	Y-YZ250F	16/22
4	4/4	511	須田 謙蔵	I.R.T.	Y-YZ450F	18/18
5	3/7	111	向井 努	MR-K 美蔵 with K-cross	H-CRF450R	20/14
6	6/5	110	山田 直人	TEAM MX JAPAN	H-CRF250R	15/16
7	8/6	36	若松 大地	WINレーシング	Y-YZ450F	13/15
8	7/8	87	Paulo S Araujo	MX BRAVES	K-KX450	14/13
9	9/9	227	中根 健	城北ライダース	H-CRF250R	12/12

■GP150クラス総合(入賞〜総合1位 / フルポイント)

1	1/1	4	大内 健八	城北ライダース	K-KX100	25/25
---	-----	---	-------	---------	---------	-------

■SE150クラス総合(入賞〜総合6位 / フルポイント)

1	1/2	2	飯田 益己	隼 ROOST	H-CRF150R	25/22
2	2/4	111	藤田 康高	東京オートクレーゾー	Y-YZ85	22/18
3	4/3	47	高橋 実	小田原ルト1	Y-YZ85	18/20
4	9/1	85	牧野 篤	レーシングチーム鷹	Y-YZ85	12/25
5	5/6	32	山崎 光明	I.R.T.	Y-YZ85	16/15
6	7/5	27	山本 久基	オヤジライダーズ	K-KX112	14/16
7	3/12	117	工藤 厚	ASSY'S	H-CRF150R	20/9
8	8/7	381	小島 順一	ボンネビル RC	H-CRF150R	13/14
9	6/11	62	片岡 夏来 ^(10/01)	C for Racing	K-KX100	15/10
10	10/9	64	窪田 志昭	SGM.RACING	H-CR85R	11/12
11	12/8	100	山崎 進章	青梅ファットM	H-CRF150R	9/13
12	14/10	01	山英靖	野田ジュニアレーシングクラブ	H-CRF150R	7/11
13	13/13	34	斉藤 匠彦	隼 ROOST	H-CRF150R	8/8
14	11/15	155	池田 均	オヤジライダーズ	H-CRF150R	10/6
15	15/14	39	中野 亮	隼 ROOST	H-CRF150R	6/7
16	18/16	11	小川 史朗	H-R-C	H-CRF150R	3/5
17	17/17	5	加藤 木桂	TEAM-M1-RACING	H-CRF150R	4/4
18	16/18	37	小泉 俊一郎	TEAM MX JAPAN	H-CRF150R	5/3

※ GP/SE/GP150/SE150 は 2 ヒート制: 両ヒートとも 25 点法でフルポイント計上

< RACE REPORT >

今年 2 回目のモトクロスヴィレッジ大会は、季節の変わり目の不安定な天候に左右されながら開催。早朝の雨の影響によるコースコンディションが心配でしたが、湿り気がいい塩梅のベストコンディション!そして最終レース直前までは曇りペースで暑さもそこそこで、過ごしやすさも感じるほどのレース日和…しかし最終レースはまたしても雨…コースコンディションが大きく変わり「ドライとマディを経験できて、一日で二度おいしい」とはよく言ったものです。

さてレースの方は、GP クラスの #4 大内 健八選手(城北ライダース)が混走 SE クラスと併せても、両ヒートともブッチギリの総合優勝に輝く大活躍を見せた。SE クラスでは #10 長谷川 祥選手(MHP RACE TEAM) がヒート1のベストタイムを記録しクラストップでゴール。午後のヒート2は雨によりマディレースとなったにもかかわらず、GP#4 大内選手が当日のベストラップを叩き出したが、そこに迫る勢いを見せて SE 総合優勝に輝いた。

GP150&SE150 では、#2 飯田 益己選手(隼 ROOST) が両ヒートとも絶妙なスタートからレースをリード。ヒート2ではラスト3周で #85 牧野 篤選手(レーシングチーム鷹)に先行を許したが、総合優勝に輝いた。一方でランキングトップの #111 藤田 康高選手(東京オートクレーゾー) はヒート2で1周目のクラッシュにより14位まで後退したが、怒涛の追い上げにより10台抜きを成し遂げ辛くも4位、総合では2位となり、もちろん表彰式のヴィクトリートークも炸裂!ギャラリーも大いに盛り上がった。

E-F1 クラスではワンデー参戦の #16 松上 育真選手(SS

順位 車番 名前 クラブ名 車名 POINT

<1ヒート制: 午前のレース>

■E-F1 クラス(入賞フルポイント〜3位 / 以下ハーフポイント)

1	16	松上 育真 ^(10/01)	SS Racing	K-KX250	25
2	3	山英靖	野田ジュニアレーシングクラブ	Y-YZ250F	22
3	27	佐藤 智和	湘南 MCC	Y-YZ250F	20
4	145	笹川 活禎	アラバトレーシング&ハービー	H-CRF450R	9
5	295	星野 健一	MR-K 美蔵 with K-cross	H-CRF450R	8
6	8	榎戸 栄一	オヤジライダーズ	Y-YZ250F	7.5
7	125	畔蒜 秀享	Me&Her Racing	Y-YZ125	7
8	800	岸部 恭平	I.R.T.	Y-YZ250F	6.5

■N-F1 クラス(入賞フルポイント〜5位 / 以下ハーフポイント)

1	256	Trevor Archer	MX BRAVES	Y-YZ125	25
2	114	大澤 健一	青梅ファットM	Y-YZ250	22
3	69	込山 正春	小田原ルト1	Y-YZ125	20
4	283	町田 翼	町田一家	K-KX250	18
5	85	三木 幸夫	山梨オートハッパローズ	H-CRF250R	16
6	52	黒岩 貴志	MHP RACE TEAM	Y-YZ250F	7.5
7	3	Pereira Marcelo	MX BRAVES	H-CRF250R	7
8	46	松本 剛	スエロ レーシング with 勝田産業	Y-YZ250F	6.5
9	27	河野 貴司	CSG	K-KX250F	6
10	94	浅川 肇	山梨オートハッパローズ	KTM-150SX	5.5
11	723	井上 哲雄 ^(10/01)	小田原ルト1	Y-YZ250F	5
12	93	福田 良太郎	スエロ レーシング with 勝田産業	K-KX250	4.5
13	551	渡辺 幸治	小田原ルト1	S-RM2250	4
14	45	トラビス レラシー ^(10/01)	MX BRAVES	KX250	3.5
15	23	二見 嘉彦	小田原ルト1	H-CRF250R	3

■E-M1(150) クラス(入賞フルポイント〜2位 / 以下ハーフポイント)

1	88	水嶋 智	TEAM MX JAPAN	K-KX100	25
2	81	関 賢一郎	東京オートクレーゾー	H-CRF150R	22
3	160	佐藤 真	MOTOR HOUSE R・D	H-CRF150R	10
4	46	内間 俊一	MX.BRC(内間俊一)	H-CRF150R	9

■N-M1(150) クラス(入賞フルポイント〜4位 / 以下ハーフポイント)

1	501	田中 優介	ボンネビル RC	H-CRF150R	25
2	41	大割 勉	ボンネビル RC	K-KX112	22
3	55	鈴木 永次	スエロ レーシング with 勝田産業	H-CR85R	20
4	34	境 光志	アラバトレーシング&ハービー	K-KX112	18
5	110	伊藤 晶	レーシングチーム鷹	H-CRF150R	8
6	121	町田 夢叶	町田一家	K-KX85	7.5
7	1	深浦 剛 ^(10/01)	team ADVAN	Y-YZ85	7
8	43	高橋 登 ^(10/01)	小田原ルト1	H-CRF150R	6.5
9	29	土谷 育生	隼 ROOST	H-CRF150R	6
10	21	石田 輝利	隼 ROOST	H-CRF150R	5.5
11	177	養毛 凜	TEAM MX JAPAN	Y-YZ85	5
12	22	中澤 貴章	H-R-C	Y-YZ85	4.5

Racing) が、#3 山英靖選手(野田ジュニアレーシングクラブ)を序盤で捉え、そのままトップでフィニッシュした。

午後の E-F2 クラスでは #800 岸部 恭平選手(I.R.T.) がスタートからトップをキープ、そのまま優勝してランキングトップもキープ。

N-F1 クラスでは優勝した #256 Trevor Archer 選手(MX BRAVES) の YZ125 をはじめ 2 スト車が活躍。午後の N-F2 でも #114 大澤 健一選手(青梅ファットM) が YZ250 で優勝した。

E-M1 では #88 水嶋 智選手(TEAM MX JAPAN) が3周目でトップとなり、#81 関 賢一郎選手(東京オートクレーゾー)を僅差で抑えての優勝。

午後の E-M2 では #46 内間 俊一選手(MX.BRC) がレース序盤でトップに立ち、そのままゴール。

N-M1 & M2 では1位の #501 田中 優介選手(ボンネビル RC)と2位の #41 大割 勉選手(ボンネビル RC) が同じクラブ員同士で、2クラスとも仲良くワンツーフィニッシュとなった。

さて今回はドライコンディションで走りたい MX408 大会です。モトクロスカーは勿論ですが、CRF125F や TTR125 などファンバイクでも楽しいコースです。プレノビスクラスでのエントリーお待ちしております。

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
----	----	----	------	----	-------

<1ヒート制：午後のレース>

■ E-F2 クラス (入賞7ポイント～3位 / 以下ハーフポイント)

1	800	岸部 恭平	I.R.T.	Y-YZ250F	25
2	16	松上 育真 (10/01)	SS Racing	K-KX250	22
3	27	佐藤 智和	湘南 MCC	Y-YZ250F	20
4	145	笹川 浩禎	アライバートレーシング & ハニービー	H-CRF450R	9
5	37	小泉 俊一郎	TEAM MX JAPAN	K-KX250	8
6	125	畔蒜 秀享	Me&Her Racing	Y-YZ125	7.5

■ N-F2 クラス (入賞7ポイント～4位 / 以下ハーフポイント)

1	114	大澤 健一	青梅ファントムC	Y-YZ250	25
2	52	黒岩 貴志	MHP RACE TEAM	Y-YZ250F	22
3	283	町田 翼	町田一家	K-KX250	20
4	256	Trevor Archer	MX BRAVES	Y-YZ125	18
5	85	三木 幸夫	山梨オートバックス	H-CRF250R	8
6	69	込山 正春	小田原ルート1	Y-YZ125	7.5
7	27	河野 貴司	CSG	K-KX250F	7
8	46	松本 剛	スエロ レーシング with 勝田産業	Y-YZ250F	6.5
9	3	Pereira Marcelo	MX BRAVES	H-CRF250R	6
10	23	二見 嘉彦	小田原ルート1	H-CRF250R	5.5
11	94	浅川 肇	山梨オートバックス	KTM-150SX	5
12	45	トラビス レラシー (10/01)	MX BRAVES	KX250	4.5

■ E-M2(150) クラス (入賞7ポイント～2位 / 以下ハーフポイント)

1	46	内間 俊一	MX.BRC (内間俊一)	H-CRF150R	25
2	81	関賢一郎	東京オートクレーン	H-CRF150R	22
3	88	水嶋 智	TEAM MX JAPAN	K-KX100	10
4	160	佐藤 真	MOTOR HOUSE R・D	H-CRF150R	9

■ N-M2(150) クラス (入賞7ポイント～2位 / 以下ハーフポイント)

1	501	田中 優介	ボンネビル RC	H-CRF150R	25
2	41	大割 勉	ボンネビル RC	K-KX112	22
3	110	伊藤 晶	レーシングチーム鷹	H-CRF150R	10
4	34	境 光志	アライバートレーシング & ハニービー	K-KX112	9
5	1	深浦 剛 (10/01)	team ADVAN	Y-YZ85	8
6	43	高橋 登 (10/01)	小田原ルート1	H-CRF150R	7.5
7	121	町田 夢叶	町田一家	K-KX85	7

順位	車番	名前	クラブ名	車名	POINT
----	----	----	------	----	-------

<セミレギュラークラス> ※ランキング対象外

■ プレノビス (MX 初心者および N 入賞未経験者 / 入賞1位)

1	N-177	荻毛 凜	TEAM MX JAPAN	Y-YZ85	--
---	-------	------	---------------	--------	----

■ オープン (資格車輛オープン / 賞典外)

1	295	星野 健一	MR-K 美蔵 with K-cross	H-CRF125F	--
---	-----	-------	----------------------	-----------	----

■ セニア (50 歳以上 / 入賞1位)

1	13	山下 和男	MHP RACE TEAM	Y-YZ450F	25
2	23	二見 嘉彦	小田原ルート1	H-CRF250R	11
3	98	折居 義弘	山梨オートバックス	HQ-TE150	10

<25ポイント制>

1位=25p / 2位=22p / 3位=20p / 4位=18p / 5位=16p / 6位=15p / 7位=14p / 8位=13p / 9位=12p / 10位=11p 11位=10p / 12位=9p / 13位=8p / 14位=7p / 15位=6p / 16位=5p / 17位=4p / 18位=3p / 19位=2p / 20位=1p

※ EJ450・250・150、N450・250・150 クラスは25ポイント制

入賞者はフルポイント計上 / 入賞以外20位まで=ハーフポイント計上

※ GP・SE・SE150 は入賞者とそれ以外の方も25点法で7ポイント計上

※ 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダーが完走者とする

計算方法はトップの周回数に0.75を掛けて小数点以下を切り捨てた数

<協賛スポンサー各社様>

(株)アライヘルメット / (株)ブリヂストン / 住友ゴム工業(株) / (有)テクニクス / (株)イングラム・(株)ビート (NORTON) / (株) Westwood MX / (有)アルファスリー / (有)うず潮レーシング / ウェストポイント / (株)アールエス タイチ / (有) NUTEC Japan / (株)MHプロダクツ / (株)協和興材 (Microlon) / (株)造形社 / (株) テクニカルスチール / 東京スリーホークス / (有)日高システム / (株)フォトクリエイト / (有)フォーシーズンズ / プライベートレーシング & ハニービー / 北湘モーターサイクル / ZONE ENERGY / (株)八重洲出版 / (株)ワークスワン / OFFICE CAMELIN / PHOTO HUNTER / Me&Her Racing / 他 (順不同)



ほぼベストコンディションで第1レースがスタート



GP&SE150の1コーナーはダンゴ状態



SE150 藤田選手の怒涛の追い上げで獲得した
ヴィクトリートークに熱が入る



今回も表彰式後のじゃんけん大会が大盛況
レース後も帰らず参加すればチャンス倍増



ZONE ENERGY ドリンクでエナジーチャージし、
優勝を果たした両選手
#ZONE エナジー #ZONEBooster